

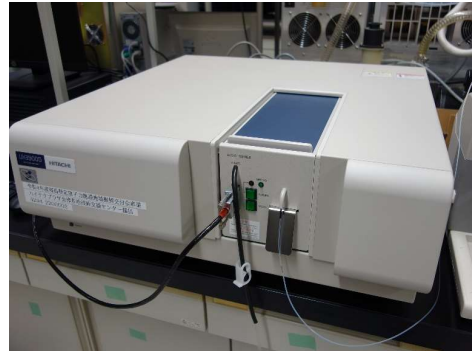
装置の概要

【型式等】

- 装置名称：紫外可視分光光度計
- メーカー：(株)日立ハイテクサイエンス
- 型式：UH3900D

【仕様】

- 分光方式：ダブルモノクロメータ
- 測定波長範囲：190nm ~ 900nm
- 測光レンジ：-5.5 ~ 5.5 Abs
- オートサンプラ検体数：100検体



溶液の濃度や特性を分析できます！

【装置の特徴】

紫外領域と可視領域の光の領域を用いて溶液の吸収スペクトルを測定できるため、溶液の濃度や物質の特徴がわかります。

通常の10mm角セルでの測定に加え、付属のオートサンプラにより、100検体までの連続自動分析が可能です。

分光方式にダブルモノクロメータが搭載されており、ワイドな測光レンジで高濃度まで検量線の直線性が得られ、信頼性の高い定量分析が可能です。

【主な用途】

- 溶液の成分濃度を定量する（ピーク強度から定量）
- どのような物質なのか解析する（スペクトル形状から定性）



オートサンプラによる連続自動分析



PCによる装置の制御・データ処理

料金・問い合わせ先

	区分	単位	料金(円)
設備 使用	紫外可視分光光度計 (UH3900D)	1時間ごと	1,040
依頼 試験	-		

〒965-0006

会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原 8 8 番 1

TEL : 0242-39-2977 (醸造・食品科)

FAX : 0242-39-0335

併せて使うと効果的です！

分光蛍光光度計
(1,040円/時間)恒温振とう培養器
(320円/時間)

県外企業は料金が2倍となります。詳しくは担当科までご確認ください。